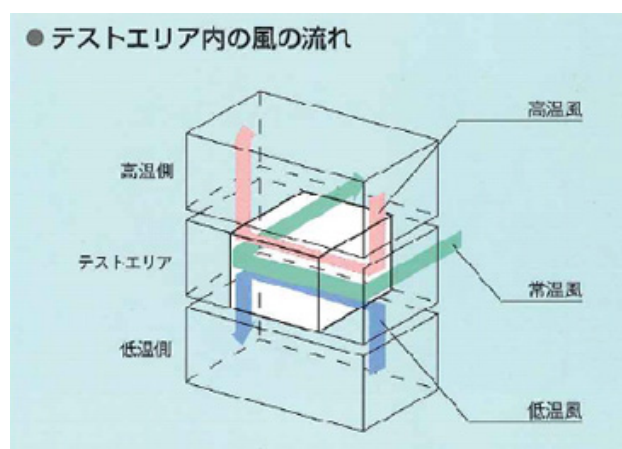


## 冷熱衝撃性



本試験装置は、テストエリア(有効内寸法：W410×H460×D370mm)内に試験片・部品・基板等の試料を設置し、試料の温度環境変化に対する耐久性評価として、ダンパの切り替えにより、それぞれ高温風/低温風/常温風をテストエリア内に循環させ、その温度環境を瞬時に高温雰囲気、あるいは低温雰囲気(必要に応じて常温雰囲気も可能)にテストエリアの環境を変化させることが可能な試験装置です。使用例としては、異材料の界面(接着面)に対して、急激な温度変化による耐久性を評価するために、熱特性による膨張や収縮などで生じる塗膜の剥離やクラック評価、またはプリント基板の通電評価などが挙げられます。

### 装置仕様

装置名	冷熱衝撃試験装置TSA-71H-W (ハイスペック仕様/エスペック(株)製)
温度範囲	高温さらし温度範囲 +60~+200℃ 低温さらし温度範囲 -70~0℃
復帰時間	5分以内(温度復帰性能)
槽内仕様	W410×H460×D370mm(有効内寸法)/30kg(テストエリア耐荷重)
試料カゴ	耐荷重5kg(等分布荷重)[2段使用可能]
外部接続	ケーブル孔(25×100mm)を利用することで可能 ・試験中の連続的ひずみ量の計測(パソコンへの通信) ・連続的な通電評価(機材持込による)
試験制御	プログラム制御により、サイクル試験が可能 (例1) -40℃×30分間 → 常温×5分間 → 120℃×30分間を計200サイクル (例2) 150℃×60分間 → -60℃×60分間を計100サイクル

装置外観



テストエリア（槽内）の様子



株式会社D J K 【問い合わせ先】 Mail: [info@djklab.com](mailto:info@djklab.com)